

学校白慢

地域とともに歩む

楽しい学校づくりをめざして

香取市立小見川中央小学校長 ただ しげあき
多田 成明



1 はじめに

本校は、舟運の河港として栄えた小見川市街を中心とする香取市東部に位置し、昭和50年代には、鹿島臨海工業地域の開発に伴い、児童が増加したが、その後は減少傾向にある。小見川藩陣屋跡に校舎を建築し、今年3月に創立144周年を迎えた。4月に小見川南小学校と合併したところで、現在学級数20学級、通級教室2学級、515名の児童数である。

2 学校の特色ある活動

グラウンドには、大きなクスノキがあり、校歌の中で歌われ、校章にもなっており、子どもたちの6年間の健やかな成長を見守ってくれているシンボルである。

基礎学力の定着に力を入れ、年2回の漢字・計算テストを実施している。また、校長先生チャレンジとして、1年生にたし算とひき算、2年生にかけ算の検定を校長室で実施し、算数科の基礎力の定着と子どもとの交流を図っている。校長の「合格」という声に「やったー！」と手を上げて喜ぶ子どもの姿を見られるのは大変うれしい瞬間である。

児童会の活動も盛んで、挨拶運動や募金活動、1年生ようこそ集会やいじめゼロ集会などの計画・運営に自主的に取り組むなど意欲的に実践する力を培う場となっている。

11月には、音楽集会が開催され、多くの保護者の方が、体育館一杯に参観してくれる大きな行事となっている。どの学年も熱心に練習に励み、当日は素晴らしい歌声・演奏を

披露する楽しい行事の一つとなっている。

地域とのつながりも深く、PTAの他に同窓会という組織がある。これは、本田元俊先生という病院の院長さんが発起人になり、子どもたちによい教育をしてもらうためにと学校を支援する形で組織され、毎年、6年生の餅つき会、創立記念日の芸術鑑賞会などいろいろな行事において地域の方々が手助けをしてくださり、情操教育の一役を担っている。

今年度は、11月に県学校体育研究大会の会場校として、授業展開を予定している。



ドレミファ音楽発表会

3 終わりに

学校教育目標は、「させられないでする子ども」である。自分で考え、行動できる「生きる力」を兼ね備えた子どもの育成を目指し、「楽しい学校」を創っていきたい。